
Blue Eyes/ブルーアイズ

A

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Blue Eyes／ブルーアイズ

【Zコード】

N3704U

【作者名】

A

【あらすじ】

空は飛べない

銃で撃たれたら痛い

特殊能力、ゼロ。

それでも溢れんばかりの正義を愛する心でヒーローになろうとする青年。

特別な力を持ち、それ故に『普通』に憧れる少女。

地球に危機が迫る時、人々はヒーローを求める。

彼等の選択は？！

本当にヒーローに必要なモノとは、いったい何なのか！

キャラクター紹介（前書き）

初投稿です。

特撮映画が大好きなので、映像が想像出来るようなスケール感のある描写が目指せたらと考へています。

拙い文章ではありますが、楽しんでいただけたら幸いです。

キャラクター紹介

主な登場人物

青木 悠一

アオキ ユウイチ

25歳。スーパーヒーロー“Blue Eyes”として活動している。人一倍、正義感が強い。

國守 南

クニモリ ミナミ

17歳。“守人／もりびと”と呼ばれる一族の末裔で、常人離れした身体能力と様々な特殊能力を持つ。しかしそれ故に『普通の女子』に強く憧れています。

橋 美菜子

タチバナ ミナコ

29歳。悠一の幼なじみで天才科学者。“Blue Eyes”的装備を设计・开发した。

中村 裕之

ナカムラ ヒロユキ

55歳。防衛軍“特異生物対策課”的指揮官。

「悠一、準備は良い?」

スピーカー越しに女性の声が響く。

「ああ、いつでも」

応える声に反応して、HUDヘッドアップディスプレイに光が点つた。

少し窮屈に感じられるヘルメットの中で【悠一】と呼ばれた青年は少し窮屈に感じられるヘルメットの中で【悠一】と呼ばれた青年は真剣な表情でディスプレイを見つめている。

中央には青い点滅。

斜め後方からは、赤い点滅が青い点滅へと一直線に向かってきている。

「頑張ってね」

スピーカーから再び女性の声。

「ありがとうございます、美菜子さん」

優しい声色でスピーカーに返事をして、悠一は軽く深呼吸する。そして次の句は力強く告げた。

「ハッチを開けて!」

モーターの駆動音と共にゆっくりとその空間に光が入ってくる。そこは輸送機（C-130ハーキュリーズ）の格納庫。

銀色の足がしつかりと床を踏みしめ、そして立ち上がる。全身が銀に輝く、人型のパワードスーツだ。

「ブルーアイズ、出る」

パワードスーツから悠一の声が響く。

スーツの、人間で言うと顔にあたる部分の一力所が、青い輝きを点す。

ブルーアイズ…その名前に相応しく、青い瞳がパワードスーツに出来上がり、精悍な面構えにも感じられる。

パワードスーツは勢いよく機外に飛び出すと、眼下に広がる雲海へと吸い込まれていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3704u/>

Blue Eyes/ブルーアイズ

2011年10月9日07時36分発行